東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6842号
〒577-0802
東大阪市小阪本町1-1-7
エフエスビル2F
編集 分室
電話：FAX（072）991-3908

八尾柏原支社
〒581-0016
八尾市八尾木北3-137
電話（072）993-2037

Très bien,Inc.
multi-food-produce
会席・幕の内・各種出張パーティー
日本料理・フランス料理
(株)トレビアン
本店／〒581-0083
大阪府八尾市永畑町1-2-40
TEL(072)991-6677(代)
FAX(072)993-3355

東大阪市の予算議会

各会派、活発な代表・個人質問展開

3月11日～13日まで

平成26年度予算案を審議する東大阪市の3月定例市議会は、3月3日から開かれており、3月11日（火）からは、各会派の代表質問と個人質問が13日（木）まで行われた。17日（月）からは、各常任委員会で付託された議案について審議することになっている。

3月11日（火）の代表質問は、公明党・西田和彦議員、日本共産党・上原賢作議員、みらいフォーラム・西村潤也議員、自民党クラブ・鳥居善太郎議員、自由民主党・岡修一郎議員が、それぞれ市行財政全般について活発な質疑を行った。

引き続いて、3月12日は、民主東大阪議員団・鳴戸鉄哉、自民党刷新の会・冨山勝成、真正議員団・米田英教、自民党清新会・木村芳浩各議員が行った。

3月13日の個人質問は公明党から松川啓子、江越正一両議員、日本共産党から秋月秀夫、浜正幸両議員、自民党清新会の石近徳博議員が行った。

平成26年度一般会計予算は 1983億円

東大阪市の4月から始まる新年度予算案は、一般会計で1983億円。野田市長は「活力ある東大阪市の新しいまちのシンボルとしてふさわしい、魅力ある文化・芸術の創造と発信の拠点として、さらに、市内はもとより、他市からもお越しいただける施設として整備を進めてまいります。平成26年度は、市民や利用者の皆さまから幅広くご意見をお伺いしながら、基本構想と基本計画の策定を行ってまいります。

また、四条の家、東診療所跡をリニューアルし、整備する新文化複合施設については、図書館、博物館、埋蔵文化財センター等を集約することでの相乗効果が期待できるユニークな施設となります。郷土への愛着と誇りを深めることができる文化施設となるよう、基本構想を策定します。

人や物の円滑な流れを支え、都市の利便性向上に直結する交通基盤の整備につきましては、近鉄奈良線の上り線の高架切り替えが、本年秋に実現することとなりました。これにより市内から9か所の踏切が姿を消し、交通渋滞の緩和が図れることとなります。引き続き、大阪府、鉄道事業者と連携しながら、都市計画道路大阪瓢箪山線をはじめ、周辺整備に取り組み、本市の交通機能のさらなる充実に努めてまいります。

また、おおさか東線JR長瀬～新加美駅間の新駅は、昨年、事業認可を取得したところであります。地域住民のご理解を得ながら、周辺整備もあわせて、平成29年度末の完成を目指してまいります。

また、本市南北交通の軸となる大阪モノレールの南伸につきましては、平成26年1月の大阪府戦略会議において、公共交通戦略4路線の一環として、事業化に向けた協議・調整を始めることが決定されました。平成26年度は、事業化の実現に向け、大阪府との協議を行うとともに、周辺地域のまちづくりについて、検討を進めてまいります。

第二の柱は、「子育て支援施策の推進」であります。

昨年3月に国立社会保障・人口問題研究所が「日本の地域別将来推計人口」を公表いたしました。その推計によりますと、全国的な人口減少、少子化傾向を背景として、本市においても15歳未満の年少人口は、2040年には2010年から大きく減少するという予測が示されました。

子どもたちは、次の時代を担う、私たち社会全体の宝であります。国では、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、一昨年、「子ども・子育て関連三法」を成立させるとともに、この法律に基づき、「子ども・子育て新制度」を平成27年度からスタートさせることとなっております。

本市においても新制度のスタートに向け、多くの市民の皆さまのご意見をアンケートなどの手法によりお伺いしながら、市民ニーズの把握に努めてまいりました。

その結果を踏まえて、「東大阪市子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度に策定してまいります。この計画では、希望されているのに保育所に入れない、いわゆる待機児童について、国の待機児童解消加速化プランを活用して、認定こども園や小規模保育施設等の整備を進めることで解消を図る一方、ご家庭で子育てされている方への一時預かりや相談支援などの子育て支援施策を充実してまいりたいと考えております。

新制度のスタートに先立つ平成26年度は、民間保育園2園の増改築により、保育所定員を20名増員するほか、1月にオープンしました楠根子育て支援センター「ももっこ」を加え、市内5か所の子育て支援センターで、充実したサービスを提供してまいります。

また、子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成制度につきましては、現在、中学3年生までの入院分のほか、未就学児の通院分を助成対象としておりますが、平成27年1月受診分からは、通院分に対する助成につきましても、対象者を中学3年生までに拡充することにより、府内トップクラスの助成制度を実現してまいります。

これらの施策により、子どもたちの生きる力・夢を育み、「子育ての喜びを創造できるまち・東大阪市」の実現を目指してまいります。

第三の柱は、「東大阪市版地域分権の取り組み」であります。

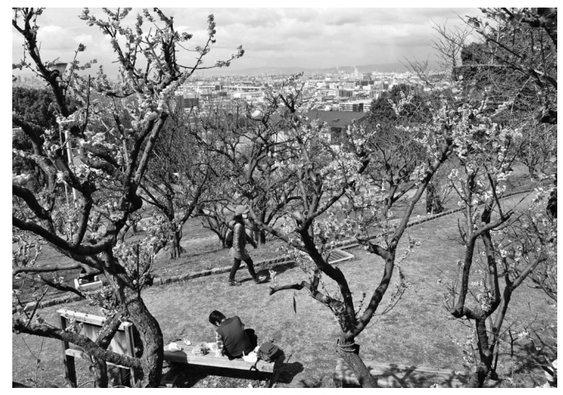
本市には、自治会をはじめとする地域活動団体や各々のミッションを持ったNPO等の市民活動団体など、多くの団体がまちづくりに携わっていただいております。また、これからまちづくり活動をしたい、関心があるという市民の皆さまも大勢いらっしゃいます。

新たなまちをつくっていくためには、このような団体や市民の皆さま一人ひとりが、地域のことを考え、思いと夢を共有して、自らの地域を自らの手でつくりあげていくことが必要であります。

このことの実現に向かって、昨年、7つのリージョンセンターでまちづくり意見交換会がスタートいたしました。地域に住む方、働く方、学ぶ方、また、本市に関心を寄せられる方々等、延べ1427名が、各々の地域で4回にわたって、熱い思いと元気を共有し、活発な意見交換をしていただきました。この姿に、私は、本市の確かな地域分権の息吹を感じ、胸を熱くいたしたところであります。

平成26年度は、この取り組みをさらに一歩進め、これまでに話し合われた課題や問題意識を踏まえ、地域で必要とされる活動の実践に結実させるため、市民提案型の「まちの想いをカタチにする事業」を実施し、市民と行政、団体と団体等の新たな協働関係を生み出してまいります。また、地域のさまざまな団体と行政との橋渡し役である地域サポート職員を増員することにより、地域の課題解決等をより一層、強力に支援してまいります。

東大阪市版地域分権は、いまだその緒に就いたばかりでありますが、市民の皆さまをはじめ、関係各位の力を合わせるとき、必ずや本市のまちづくりの礎を担う取り組みに育っていくことと確信しており、その推進について、全力で取り組んでまいります。（つづく）


春の訪れを告げる枚岡梅林

平成26年度 市政運営方針

東大阪市長　野田 義和

平成26年度は、本市のこれからのまちづくりにとって、非常に重要な年となります。平成25年度は、公共施設マネジメント推進基本方針の策定など、まちづくりの大きな方向性の具体化に着手することができました。平成26年度は、公共施設の再編整備と、子育て支援施策や東大阪市版地域分権の推進など、本市の新たなまちの姿を描き、将来の夢と繁栄の基礎を築くため、確かな一歩を踏み出してまいります。このような考えの下、平成26年度の市政運営に当たっての4つの柱を申し述べます。

第一の柱は「夢ある都市基盤の整備」であります。

昨年11月、公共施設マネジメント推進基本方針を策定し、本市の将来にわたる公共施設のマネジメントを推進していくことを決定いたしました。あわせて、早急に課題の解決が求められている防災関連施設等の一部公共施設について、整備の方向性とスケジュールを盛り込んだ公共施設再編整備計画を策定いたしました。この計画の策定により、市民の待望久しい新市民会館や本市の新しい文化の拠点となる新文化複合施設がいよいよ実現に向け動き出すことになりました。

まず、旧中央病院跡地に建設します新市民会館は、中核市・東大阪市の新しいまちのシンボルとしてふさわしい、魅力ある文化・芸術の創造と発信の拠点として、さらに、市内はもとより、他市からもお越しいただける施設として整備を進めてまいります。平成26年度は、市民や利用者の皆さまから幅広くご意見をお伺いしながら、基本構想と基本計画の策定を行ってまいります。

また、四条の家、東診療所跡をリニューアルし、整備する新文化複合施設については、図書館、博物館、埋蔵文化財センター等を集約することでの相乗効果が期待できるユニークな施設となります。郷土への愛着と誇りを深めることができる文化施設となるよう、基本構想を策定します。

人や物の円滑な流れを支え、都市の利便性向上に直結する交通基盤の整備につきましては、近鉄奈良線の上り線の高架切り替えが、本年秋に実現することとなりました。これにより市内から9か所の踏切が姿を消し、交通渋滞の緩和が図れることとなります。引き続き、大阪府、鉄道事業者と連携しながら、都市計画道路大阪瓢箪山線をはじめ、周辺整備に取り組み、本市の交通機能のさらなる充実に努めてまいります。

また、おおさか東線JR長瀬～新加美駅間の新駅は、昨年、事業認可を取得したところであります。地域住民のご理解を得ながら、周辺整備もあわせて、平成29年度末の完成を目指してまいります。

また、本市南北交通の軸となる大阪モノレールの南伸につきましては、平成26年1月の大阪府戦略会議において、公共交通戦略4路線の一環として、事業化に向けた協議・調整を始めることが決定されました。平成26年度は、事業化の実現に向け、大阪府との協議を行うとともに、周辺地域のまちづくりについて、検討を進めてまいります。

第二の柱は、「子育て支援施策の推進」であります。

昨年3月に国立社会保障・人口問題研究所が「日本の地域別将来推計人口」を公表いたしました。その推計によりますと、全国的な人口減少、少子化傾向

『文化のまち東大阪市』

ポスターで市内外へPR

モノづくりやラグビーとして有名な東大阪市が「文化のまち東大阪市」としても市内外へPRしようと、作製していたポスターがこのほど完成し、本庁舎などの市内公共施設で掲示するほか他、3月4日から大阪府内外の近鉄主要駅などで掲示される＝写真。

このポスターは、同市の名誉市民でもある司馬遼太郎氏の功績を後世に受け継いでいこうと建てられた司馬遼太郎記念館と周辺の地域資源を活用して「文化のまち」を市内外にアピールしていこうと作製された。

ポスターには、市民からよせられた司馬遼太郎作品へのメッセージや、同市と司馬遼太郎氏との関係などが紹介されている。市民からのメッセージは、昨年8月に市政だよりやウェブサイトで募集。およそ50点の作品の中から12点が採用され、司馬遼太郎氏の代表作品である「坂の上の雲」や「二十一世紀に生きる君たちへ」などへの想いが100字前後で表現されている。

ポスターは、デザイン・メッセージが異なるB1サイズ2種類と司馬遼太郎記念館にある高さ約11mの書棚の写真をベースにメッセージのみが異なるB2サイズ10種類があり、合計50枚程度作製された。

B1サイズは、大阪難波駅や京都駅のほか名古屋駅など乗降者数が多い市外の7つの駅に2種類が連貼りされ、B2サイズは布施駅など市内を中心に30の駅に1枚貼りで掲示される。近鉄の駅では、3月4日から3月24日まで掲示が行われる（京都駅と阿部野橋駅はそれぞれ25日、27日まで）。また、ポスターは駅だけでなく、市役所やリージョンセンターなど市内の公共施設にも掲示を行い、モノづくりやラグビーだけでなく「文化のまち」としても市内外にアピールを行っていく。

「文化のまち」東大阪市・近鉄上六駅でPR

新八尾図書館が完成

4月30日オープン

「新しい八尾図書館」の始まりに寄せて

八尾市長　田中 誠太

これまで長年、市民の皆さまに親しまれてきた八尾図書館が、この春、新しい八尾図書館として生まれかわり、4月30日の「図書館の日」から利用開始となります。

本市では、平成22年度に策定しました「第2次図書館サービス計画」の基本理念であります『市民とともに歩む図書館』づくりを進めており、新しい八尾図書館では、市民の皆さまや図書館ボランティアの方々に、より一層ご利用をいただくことで、図書館をより良いものへと創りあげてまいりたいと考えております。

新八尾図書館の開架閲覧スペースは、これまでの2倍以上の広さとなり、1階には約25、000点の児童の絵本や視聴覚資料を配架し、2階には約58、000点の小説や専門書、郷土資料等の図書資料を配架しております。また、ICタグを活用した貸出サービスの効率化を図るため、自動貸出機等を導入し、読んだ本のタイトル等を記録できる読書通帳機のサービスを関西で初めて開始いたします。

さらに、河内・八尾の文化をこよなく愛した作家である今東光の文学的作品を通して八尾市の魅力を発見・発信する資料館や、子どもから大人まで幅広く図書館の資料を活用して学べる学習室を設けております。また、青少年の健全な育成を支援する青少年センターとの合築により相互連携を図ってまいります。

今後も引き続き、新八尾図書館を中心に、山本図書館、志紀図書館、そして移動図書館、さらに現在建設中の龍華図書館による図書館サービスの充実に努めてまいります。

八尾市役所西館南側（旧八尾商工会議所跡地）で昨年より施工していた市立八尾図書館が、このほど完成した。オープンは4月30日（水）「図書館の日」となっている。

同図書館の施工業者はつぎの通り。（敬称略）

〔施工業者一覧〕

建築工事は、**中川企画建設㈱**＝中川廣次社長。

電気設備工事は、**明和電気防災㈱**＝野澤友秀・代表取締役社長、機械設備工事は、**日管・上之島特定建設工事共同企業体**、植栽工事は**小山造園㈱**＝井上将樹・代表取締役。

第55回デイリースポーツ旗争奪
ホワイトベア競走
3月 25(火) 26(水) 27(木) 28(金) 29(土) 30(日)
主催／大阪府都市競艇組合
暴力団関係者・ノミ屋等の入場お断り！
■早朝前売発売 午前7時30分開始
BOAT RACE 住之江

住宅型有料老人ホーム
フォーユー八尾山本
介護ヘルパー募集！
お気軽にお電話ください。
TEL.06-6535-5501（松田）
施設運営　日健マネジメント
居室数60戸　入居相談・受付中
お問い合わせ・資料請求・受付窓口　【営業時間／9:00～17:00】 ◎お気軽にお問い合わせください。
0120 FreeDial 0120-49-5502
安心　入居費用　敷金 0円　介護度の重い方も、ご相談ください。
※入居条件：要介護1～5、65歳以上の方
月額費用 109,800円
【内訳】家賃/42,000円　管理費/24,600円　食費/43,200円
充実　サポート！　ご高齢の方が、安心、快適に暮らせる バリアフリー設計　24時間スタッフ常駐　専門の食事会社による食事提供など、万全の生活サポート!!
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
関西にて、他22施設運営
ホームページURL　日健マネジメント　検索　日健マネジメントで検索して下さい。http://www.nikken-m.jp/
現地案内担当　小山 博（河内新聞社長）090-8213-4712
大阪府八尾市上之島町北1丁目66番地他（地番）
近鉄大阪線「河内山本」駅徒歩約15分

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市八尾木北３－137
電話 (072)993-2037
FAX (072)993-2037

新聞記者としての原点は布施高校

産経新聞 香西広豊記者

「東大阪との縁を感じています」と話す香西広豊記者

「新聞記者としての原点は、布施高校在学中に取材されたことです」と、産経新聞大阪本社編集局社会部大阪総局の香西広豊さん(49)は当時のことを懐かしむ。

取材され新聞記者を夢見る

布施高校（東大阪市下小阪3）の器械体操部で活躍していた香西さんは、大阪体育大学をめざしていた。そして、将来の夢は体育教師と定めていた。

ところが、高校3年生の夏に進路変更することになる。それは、毎日新聞が実施していたアフリカ難民救済キャンペーンに募金しようとクラスで話し合い、3日間募金活動を行ったことに始まる。校門前、近鉄八戸ノ里駅改札口、近鉄河内小阪駅改札口にそれぞれ分かれて立った。香西さんは校門前を担当。

そこに毎日新聞の若手記者が取材にやってきて、香西さんにインタビューした。緊張しながらも一生懸命に募金活動について話した。記者は聞きながらノートに書き込み、写真を撮って帰っていった。

翌日の毎日新聞を見ると、香西さんの写真が大きく掲載されていた。ただただしく話した内容が上手くまとめられている。その記事を見たとき、心打たれ、「新聞記者になろう」と決心した。すぐに進路変更し、新聞の勉強ができる関西大学社会学部に入学。

大学卒業後は高校生のときに描いた夢を果たすため、産経新聞に入社した。新聞社にはこだわりがなかった。とにかく新聞記者になりたかった。産経新聞の募集情報を目にし、受験して見事に合格。

経済記者としてスタートし、20年が過ぎた。昨年5月に社会部に配属され、東大阪の担当になった。まさか自分が社会部に配属されるとは思ってもみなかったという。頭を切り替え、これまでの経験を活かして東大阪の中小企業を取材して回る。東大阪だけでなく八尾、柏原もカバー。

大学1年生のときに家族で宝塚に引っ越し、それからずっと東大阪を離れていた。東大阪に帰ってみると、街の風景が様変わりしているのに驚いた。しかし、懐かしい風景もところどころ残っているのが嬉しい。

「近鉄花園ラグビー場でラグビーワールドカップを実現させてほしいです。紙面を通して精一杯応援します」と少年のような目で語った。

東陽税理士法人

緊張感いっぱいの朝礼

朝礼拝見 －23－

伝える力養う

朝礼ジャーナリスト　黒河龍二

大阪市中央区にある東陽税理士法人の朝礼を訪問。税理士法人という職業柄もあり、朝礼は緊張感いっぱいのなかで行われた。しかし、緊張感漂う理由はそれだけではなかった。東陽税理士法人は朝礼を導入して3カ月。しかもこの日の見学者は約15人。朝礼にもようやく慣れてきた時期ではあるが、大勢の見学者のなかで行われる朝礼に自然と緊張感が高まる。

朝礼は毎日9時から約10分間。身だしなみのチェックから始まり、経営理念・行動指針の唱和、理念ディスカッション、連絡事項等を通じ、最後は拍手と一礼で締める。朝礼の中で特に目を引いたのが「理念ディスカッション」。2人1組でペアを組み、その日のテーマについてお互いに1分間ずつ話をする。大人数の前だと緊張する人でも、2人1組とすることで緊張もほぐれ、自然と表情も和らぐ。こうすることで、毎日短い時間で自分の考えを分かりやすく「伝える力」を養うこととなる。

「未来」に生かすには

朝礼を導入するきっかけは、代表社員である山下大氏の思い。山下氏は、会計士法人である東陽税理士法人の朝礼に期待が持てる。

「結果」の話になりがちだと言う。しかし、結果の話だけでは顧客の業績が上がるわけではない。会計という結果を「未来」に生かすためには、会計のプロとして顧客の未来を創造するための提案力が求められる。そのために欠かせないのが「伝える力」。そこで日々の朝礼を通じて伝える力を養い、顧客に貢献できる仕事創りをしようと考えている。また、朝礼導入による変化があった。それは自主性。以前は勤務時間ギリギリに出社していた職員が早めに出社するようになるなど、自主的な変化が起きている。

導入から3カ月。これから更に変化し続ける東陽税理士法人の朝礼に期待が持てる。

東陽税理士法人
オカノマネジメントコンサルタンツ株式会社
山下行政書士事務所
大阪市中央区久太郎町２－５－28
久太郎町恒和ビル８階
ＴＥＬ：06－6251－1435
ＦＡＸ：06－6252－3330
E-mail：toyo-tax@tkcnf.or.jp
http://toyo-tax.tkcnf.com

布施高校5期生会開催

傘寿の男女、高校時代を懐かしむ

布施高校5期生会が2月22日、シェラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区上本町6）で行われた。傘寿の男女約50人が集い、高校時代を懐かしみ思い出の数々を語り合った。

5期生の結束は固く、16年連続で行われている。遠くは富山や千葉からの参加者もあった。

今回は特別ゲストとして、本紙主幹小野元裕（布施高校41期生）と妻椿彩綺（本名小野彩綺、布施高校43期生）が招かれた。会の途中で2人は舞台に上がり、緒方馨さん（ラテン音楽研究家）が聞き役となって「新婚さんいらしゃい！」が行われた。昨年4月に結婚したこと、小野元裕主幹が文化交流を行っているウクライナのこと、椿彩綺が歌っているジャズについてそれぞれ話した。

2部のカラオケ大会では、傘寿と思えないほどの美声を次々に披露。ムードのある曲に合わせてダンスするシーンもあった。

「来年も集まりましょう」と笑顔でお開きとなった。

布施高校５期生会集合写真

広域

パドローネ22で福山琢磨さん「孫たちへの証言」語る

ゼミ型学びの場「パドローネ22」が2月25日に丸福珈琲千日前店（大阪市中央区千日前1）で開かれ、福山琢磨さん（79）が「孫たちへの証言」について講演した。「孫たちへの証言」は戦争体験集で、毎年8月に出版。今年は第27集を出版する予定。テーマは「あの記憶を風化させてはならない」。

今年は学童疎開70年。それに合わせて、第27集だけでなく学童疎開編も出版する予定。これまでの『孫たちへの証言』から学童疎開についての文章だけ抜き取り一冊に。

次回のパドローネ22は3月25日、テーマは「3・11大震災から4年目を迎えて」、講師は阪井健二さんと遠藤雅彦さん。

問い合わせは小川秀人さん（☎080－1454－5666）へ。

講師の福山琢磨さん（前列左から３人目）を囲んで

活発に意見交換する参加者（左から丁章さん、鈴木良さん、南堂照子さん）

東大阪の公民教科書を読む会開催

「自由権」「社会権」「参政権と国務請求権」

第7回東大阪の公民教科書を読む会が2月28日に喫茶美術館（東大阪市宝持1）で行われた。詩人の丁章さん、元立命館大学教授の鈴木良さん、詩人の南堂照子さんらが参加した。いつもは十数人の参加者があるという。

この日は、育鵬社版「新しいみんなの公民」の「自由権」「社会権」「参政権と国務請求権」を輪読した。丁さんは在日外国人として、鈴木さんは近代日本史研究者として、南堂さんは母親として、それぞれ感じたことを話した。訂正してほしい内容、違和感のある記述、あるいは納得できる説明など、次々に鋭い意見が出た。

次回の教科書採択は来年7月。それまでに何度もこの会を重ね議論を深める予定だ。東大阪在住以外の人も歓迎する。

「主義や組織のしがらみを超えて、教科書問題に絞り、東大阪のめざめる市民のネットワークへと発展していけば」と丁章さんは話していた。

問い合わせは和寧文化社（☎06－6725－0430）へ。

創生神楽を世界に発信

研究会を東大阪瓢箪山で開催

神楽（かぐら）とは宮廷で神を祭るために奉ずる舞楽を意味する。観光庁に「エンタメ観光マイスター」を任命されて4年目を迎える表博耀（ひろあき）さん(50)は、古事記に由来する神楽と現代の感覚を包含した「創生神楽」を舞台表現者として発表し展開している。古神道や修験道を実践する表さんは、日本の伝統美を現代風によみがえらせる創造活動を浸透させている。また、伝統を尊重しながら新しさを生み出す「温故創新」や「古であり新しい」をポリシーに、日本の精神性を追求し続けている。

神楽は古事記の国護りの段において日本国を和議平定に導いた香取神宮（千葉県香取市）、鹿島神宮（茨城県鹿島市）、息栖神社（茨城県神栖市）の大神の偉業を讃えてつくりだされた。「創生神楽」は古事記にちなんだ人類の存亡と新たな営みをつむぎ出す最古典の表現「神楽」と、ミュージカルやオペラの要素とのコラボレーションを舞台表現化している。2011年にはイタリア・フィレンツェで表さんが観光大使として「創生神楽」の公演を行い、日本の伝統的な工芸作品や生活文化を紹介するフェアを開催している。

「創生神楽」は2010年に淡路・伊弉諾（いざなぎ）神宮の「創生国生み神楽」が創設され、同年に河内国一ノ宮・枚岡神社の「創生平国神楽」が創設、そして2013年に下総之国一ノ宮・香取神宮の「創生平定神楽」が創設された。これにより国を創生する国生み、平国、平定に至る三大聖地における国家安泰の三大創生神楽が成立することとなった。

「表研究会」は東大阪瓢箪山で定期的に開催され、2月28日で3回目を迎えた。主宰者は春名竜太さん（タイアップ社代表）が務めており、YCひょうたん山（読売新聞会館）の鈴木訓司代表が会議室を提供している。

表さんの講話で印象に残ったのは生駒連山を取り巻く都市が、日本文化の発祥であり中心であること。生活習慣の集積が信仰につながること。「心映え」は和歌・短歌・俳句の反映であること。一見、断片的に見えることは文化という名の分化であり歴史と結びついている。奈良は日本のまほろば・熟成の文化・心映えの国であり、その後の都・京都は見せ方に長けたモダニズムと喝破している。

観光庁から任命されている「エンタメ観光マイスター」の大役を、歌舞伎・能・狂言・神楽を歴史観と尊厳をもって大切にブランド化し、2020年の東京五輪につなげていきたいと語っていた。

「エンタメ観光マイスター」の問い合わせは、事務官・脇龍一さん（☎06－6754－9160）へ。

（小川秀人）

左より、脇龍一さん、表弥代子さん、枚岡神社・中東弘宮司、表博耀さん

連載小説

ウクライナを歩く――❺

小野元裕

キエフの中心にあるマイダン（独立広場）は花で埋め尽くされている。「2月マイダン革命」で命を落とした100人近い同志を悼む人が後を絶たない。まだこれから輝かしい未来がある若者たちが、国の未来に命を懸けて戦い、そして散っていった。だが、その死は決して無駄に終わることはなかった。ヤヌコビッチ政権が崩れ落ちたのだから。

今日はマイダンに1万人もの人が集まった。ウクライナの国民的詩人タラス・シェフチェンコ生誕200年集会が開かれ、私もその仲間に入った。マイダンは人びとの異様な熱気で満ちていた。

「プーチンよ、出ていけ」「ウクライナのことはウクライナ人で考える」「タラス・シェフチェンコ、万歳」など、腹の底からの声が飛び交っていた。

シェフチェンコが生きたのは、専制君主ニコライ1世の治世と重なっている。農奴出身のシェフチェンコは、最初は絵の才能が認められ、次に詩の才能が認められ、世に出る。47年という短い人生だったが、専制政治と農奴制のなかで苦しみ闘った。

苦悩の末に彼が下した結論は、ロシア語ではなくウクライナ語で詩を書き、ウクライナ人としてのアイデンティティーを示すことだった。まさにウクライナの魂を詩という表現方法で表し、人びとに訴えかけた。ウクライナ民族の運命に思いを馳せ、反ロシアを訴え続けたシェフチェンコはウクライナ独立のシンボルとなっている。

集会に一緒に参加した古老の歴史学者セルゲイは私に向かってこう言い放った。

「今、ロシアは腕力でウクライナを押さえつけようとしている。何も今始まったことではない。シェフチェンコが生まれた200年前も同じだった。いや、もっと酷かった」

舞台を見ると、日本から来たシェフチェンコ研究者が立っている。自ら日本語に訳したシェフチェンコの詩を朗読すると、人びとは喜びの声を上げた。

セルゲイの妻ナタルカは歓喜し、「日本はやっぱりウクライナの味方だわ」と私の首に抱きついた。

子供から大人まで
１人で楽しく遊べる
脳の活性・開発・思考力強化、ボケ防止（予防医療の一助になる）等々を目的とした数字ならべパズル
企画立案・製作・販売
「自己啓発」
潜在意識開発　松茂良興治事務所
八尾市福万寺町南６－２－３　072－922－3933

1	2	3	4	5
10	9	8	7	6
11	12	13	14	15
20	19	18	17	16
21	22	23	24	

1	16	15	14	13
2	17	24	23	12
3	18		22	11
4	19	20	21	10
5	6	7	8	9

施設をご利用のお客様へ
改修工事に伴う休館のお知らせ
いつも八尾プリズムホールをご利用いただきありがとうございます。
プリズムホールでは、空調熱源機器更新工事に伴い、平成25年11月18日(月)～平成26年3月31日(月)の間、全館臨時休館いたします。
皆様方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
なお、休館中もご利用に関するお問い合わせや平成26年4月以降の施設のお申し込み受付を行っております。
※休館中の1階お客様窓口の営業時間は、月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）と年末年始のお休み以外の9：00～17：00に変更させていただきます。
▶施設利用に関するお問い合わせ
プリズムホールお客様窓口　ＴＥＬ：072－924－5111
▶工事に関するお問い合わせ
八尾市文化国際課　ＴＥＬ：072－924－3909
PRISM HALL 八尾市文化会館

栄養補助食品
天然素材100％使用
グリーンミネラル
自然の微量元素がいっぱい
スギナ　ヨモギ　モロヘイヤ
粒タイプ　100g　¥3,150(税込)
(有)ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

企業経営者で阿蘭梨の著者が説く人生論・現代人必読の書。
らしく生きる
松茂良 興治 著
B6判192頁並製本
定価：1575円(税込)
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
全国書店で発売中
問い合わせは
松茂良興治事務所へ
TEL 072-922-3933

沖縄特選
琉球王朝時代より愛されている安全・安心な食物素材の
活力青汁
ビタミン主要元素90.7％含有
90g（3g×30包）5250円(税込)
日本マーキュリー ヘルスケア事業部
お問い合わせは
東大阪新聞 八尾柏原支社へ
TEL/FAX 072-993-2037

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代
自分史・追悼集・随筆
「著者と編集者が二人三脚で本作り」をモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
ドニエプル出版
TEL/FAX 072-993-2037

あなたの結婚式、ご家族のお葬式を記事にして、大切なメモリーとして残しませんか
当社ベテラン記者とカメラマンが、丁寧に取材して記事にします。大切なメモリーとして地域の人に知ってもらい、人びとの記憶に永遠に残すことができます。
紙媒体だけではなく、インターネット上でも公開します。
お気軽にお問い合わせ下さい。
東大阪新聞社
TEL/FAX072-993-2037
（担当：小野/070-5432-2795）